

四中だより

No. 10

令和2年(2020年)8月7日

枚方市立第四中学校

校長 鶴島 茂樹

1学期終了！！そして2学期に向けて

臨時休校で始まり、分散登校、そして通常授業、とこれまでにない厳しい状況だった1学期が終わります。しかしそんな状況のなかで、みんな、本当によくがんばったと思います。それでも各学年、各クラス、あるいは各クラブで、いくつかの反省点があったはず。失敗してしまった人が、二度と繰り返さないように反省する必要があるのはもちろんですが、それ以上に大切なものは、周りのみんなの力です。学校は集団生活の場です。一人ひとりの行動は、大なり小なり、みんなに影響を及ぼすのです。「私は関係ない」ではすまされないのです。

何か問題が起こったら、クラス(クラブ)みんなで受け止め、そして、アカンことはアカンと注意し合い、いいことはみんなで支え合って成し遂げる、そんなクラス、クラブ、学年、そして四中を創り上げましょう！！

さて、いよいよ夏休み・・・といっても、残念ながらわずか10日間の短い休みです。新型コロナの勢いも止まりません。様々な情報も飛び交っています。TV などでは、いろいろな著名人が意見を述べています。そのなかで気になる意見が、「結局たくさんの方が感染しないと終わらないんだから・・・」、「前より重症者は少ないから・・・」、「インフルエンザと同じ。自粛自粛と気にしすぎ・・・」というようなトーンの見解・・・

誰にとっても最も大切なモノは？という問いに、「命」と答えて、「それはおかしい」と否定する人はまずいないでしょう。どんな場合でも、まず第一に優先すべきは「命を守ること」にちがいないと思います。人の命より重いものはないはず。

先のような意見を持つ人が、自分自身や大切な家族が感染して重症化した時でも、はたして同じ意見を本当に述べるのでしょうか？

まあ、それはさておき、こんな時、モノをいうのが「想像力」。例えば相手の立場や気持ちを想像する力。「いじめ」などという愚かな行為は、想像力の欠落の結果としか言いようがありません。例えば SNS 上に、自分や人の画像やプライバシーを上げることが、どんな結果につながる可能性があるかを想像する力。

そして、現在の新型コロナについても、感染のリスクについて想像し、正しく恐れること。もちろん、気を付けていても感染することはありますし、感染した人や感染したこと自体が悪いものではありません。しかし、無理のない範囲でリスクを下げることは必要です(手洗い・うがい・マスク・人との距離間・換気)、ぜひとも想像してほしいのは、自分は感染しても平気かもしれないけれど、家族や高齢者の方にうつしてしまう可能性があるということ。だからこそ、自分自身だけでなくお互いを守るために、マナーをもって当たり前の行動をしていきましょう。

さあ、短いけれど、夏休み。計画性をもって、勉強と部活動、自分の時間、家族との時間、それぞれを大切にしてください。そして、「想像力」を豊かに、心身の健康に充分留意して、始業式(8月19日)には、元気に全員集合しましょう！！